

2001年8月

13年振りのフルモデルチェンジにより、排気量を 1,832cc にアップ。エンジンから車体まで全て新設計となりました。低重心の新設計水冷 4 ストローク OHC 水平対向 6 気筒エンジンを搭載することで、余裕あるパワーを実現するとともに、三元触媒システム「HECS3^{※1}」の採用で世界最高水準の環境性能を実現しました。さらに、軽量、剛性に優れた新設計のアルミフレームの採用や、最適なライディングポジションなどにより、取り回しと操作性を向上させました。パッセンジャーシートは、ファーストクラス感覚の乗り心地を追求し、ロングツーリングでも疲労の少ない設計となりました。また、国内専用仕様として、量産二輪車世界初^{※2}の電動式光軸調整機能付きのディスチャージ式ヘッドライトや、間欠機能付き電動ワイパー、盗難抑止システム「H・I・S・S^{※3}」を採用していました。車体色は国内専用色のパールグレイシャーホワイトと、北米、欧州と共通色のパールキャニオンレッドの2色を設定していました。

※1. Honda Evolution Catalyzing System 3 ※2. Honda 調べ ※3. Honda Ignition Security System



2001年 GOLDWING (GL1800)

2002年8月

国内専用色の高級感あるパールグレイシャーホワイトに加え、北米仕様であった精悍なブラックを採用し2色の設定で発売されました。これに伴いパールキャニオンレッドが廃止となりました。

2003年5月

現行色の2色に加え、北米仕様と共通色の高級感溢れるストリームシルバーメタリック、パールクロミアムパープル、デュランゴレッドメタリックを新たに追加。全5色のカラーバリエーションの設定となり、より多くのお客様の要望に応えられるものとなりました。